

-講演会のお知らせ-

The role of macromolecular complexed in the antiapoptotic effect of LPA

日時：平成19年3月2日(金)

午後4時より

場所：徳島大学薬学部第2講義室(3F)

演者：Dr. Gabor Tigyi

Department of Physiology,

University of Tennessee Health Science Center

後援：日本薬学会中国四国支部

Tigyi博士は、リゾリン脂質メディエーターの代表格のリゾホスファチジン酸 (LPA)が動物血清の活性因子であることを解明したリゾリン脂質研究のパイオニアの1人です。現在、**BBA-Molecular Biology of Lipids**のeditorを務めるなど活発な活動を行なっております。皆様の来聴をお待ちしております。

連絡先：徳村彰 (tokumura@ph.tokushima-u.ac.jp)

徳島大学大学院HBS研究部衛生薬学分野 (633-7249)